



# 谷間の百合 8.9月

学校法人信栄学園 幼保連携型認定こども園 平幼稚園  
2021. 8. 26

9月の聖句

「わたしがあなたがたを愛したように、あなたがたも互いに愛し合いなさい。」

ヨハネによる福音書 13章 34節

園長 平澤 功

8月は原爆が広島と長崎に投下された月であり、第二次世界大戦が終結した月でした。戦争によって多くの人々の命が犠牲になりました。身も心も傷つきました。家も自然も破壊されました。平和の大切さを思われる月でした。しかし今日に至っても人の命、心も自然も粗末にされているように思います。人の命、自分のものも他人のものも勝手にできるものではありません。それは神様が造られ、命と心を与えてくださったからです。そういう命を傷つけたり、殺したりしてはいけないのは当然です。人種差別、ヘイトスピーチも大きな問題です。人格を否定する言動もゆるされることではありません。自然も大切にしなければなりません。

聖書は「神は愛です」ということを教えています。愛するとは一人ひとりの命も心も大切にすることです。人間はいろいろな違いの中で生きています。国や人種、肌の色、能力や体力といった違いがあります。人間は相手より有利なところを見つけたりすると、すぐに威張ったり、相手を見下げたりします。しかし、神様にとっては、一人ひとりが同じように大切なのです。

私たちのなすべきことは、私たち一人ひとりが神様に愛されているように互いに愛し、助け支え合うことです。礼拝において「この花のように、みんなの心に、やさしくかおる、子どもにしてください」「この花のように、神さまの愛を、そっとあらわす、子どもにしてください」(こどもさんびか 115番)と歌います。神様の愛に応え、皆の心にやさしくかおる人に、神様の愛をあらわす人になりたいと思います。

## 8.9月の行事予定

8月 26日(木) 第2学期始業式  
27日(金) 誕生日祝会  
31日(火) 避難訓練

9月 1日(水) 幼児クラスカレーパーティー  
(幼児クラス白飯持参)  
6日(月) 園外保育 ひかり組教会訪問  
7日(火) おやこ広場  
8日(水) 園外保育 あい組教会訪問  
(お弁当持参)  
9日(木) 避難訓練  
15日(水) 交通教室  
17日(金) お弁当の日\*ひつじ組・にじ組のみ  
(たね組、幼児クラスは給食)  
園外保育 ひかり組松ヶ岡公園  
28日(火) おやこ広場  
のぞみ組アクアマリン(お弁当持参)  
30日(木) 誕生日祝会

\*乳児保育参加(9月~11月)については後日お知らせします。

### 9月の行事予定の変更のお知らせ

#### 運動会変更のお知らせ

9月23日(木)に予定しておりました運動会は10月12日(火)に変更になりましたので、9月24日(金)の1号振替休日は、なくなり、通常保育になります。

わたしは愛されていると感じ 心満たされて今を生き 明日の希望を持つために

2021年度 年主題 **共に喜んで**

年主題聖句

一つの部分が苦しめば、すべての部分が共に苦しみ  
一つの部分が尊ばれば、すべての部分が共に喜ぶのです。  
コリントの信徒への手紙 I 12章 26節

<キリスト教保育・月主題 8月・9月>

乳児クラス (0歳児)  
8月主題「ゆったりと」 9月主題「のびのびと」

乳児クラス (1.2歳児)  
8月主題「ゆったり」 9月主題「のびのびと」

幼児クラス (3.4.5歳児)  
8月主題「祈り合う」 9月主題「心かよわせて」

先日、8月15日(日)に教会にて帆刈猛前園長が天に召されて一年の記念会(礼拝)を行いました。生前の帆刈園長の思い出を語りつつ、神さまに祈るひとときを過ごしました。帆刈園長は病に倒れ天に召されるその時まで、子ども達の事を思い、保護者の皆様を思い、職員、幼稚園を思って下さいました。毎月の谷間の百合に巻頭言も執筆されておりましたが、今回「幼子とともに」と題しまして、その巻頭言を冊子にしようと平澤園長が発刊して下さいました。その中の一文をご紹介します。

「今日を喜び祝い、喜び踊ろう」(詩編 118編 24節)  
(途中、抜粋) 子ども達は日々、これまで経験したことのない多くの新しい出来事に直面します。それらの新しい出来事と向き合い、それら乗り越えるためには、それぞれの内面の葛藤があり、少なからぬ苦勞があります。ただそれらのチャレンジを受け、そしてそれと向きあいながら乗り越えていく中で、いのちが磨かれ、いのちのうちにある力が開かれ、心も体も大きく成長していくのではないかと思います。子ども達に与えられているいのちそのものの中に、実は苦勞を乗り越えられる力が内包されており、これは「神の恵み」なのだ、と聖書は語ります。私たちも、子ども達それぞれのいのちが持っている力を信じていきたいと考えています。保育するということも、そのような子ども達に与えられているいのちの力を信じることから始まるのではないかと思います。  
2020.7月(帆刈 猛)

“いのちを大切に…信じることから始めよう”。2学期がスタートするこの時、私自身の胸に、心に留めておきたいと思います。  
追記  
「幼子とともに」帆刈猛前園長、平澤功現園長のコラボ巻頭言は事務室前にありますので、是非ご拝読下さい。

副園長 高萩恵美